

がつ にち もく れいわ ねんどとうしょよさん あん
2月9日(木)令和5年度当初予算(案)

きしやかいけん はっぴょうないよう
記者会見 発表内容

ほんじつ れいわ ねんどとうしょよさん あん がいよう せつめい
本日は、令和5年度当初予算(案)の概要について、ご説明さ
せていただきます。

くぼ たてが しりょう れいわ ねんどとうしょ
まずは、お配りしております、縦書きの資料「令和5年度当初
よさん あん がいよう らん
予算(案)の概要」1ページをご覧ください。

よさんへんせい きほんほうしん れいわ ねんど
「1 予算編成の基本方針」にもありますとおり、令和5年度に
つきましては、「第7次鳴門市総合計画」及び「鳴門市行財政
かいかくけいかく かいかく けいかくしょねんど むか
改革計画～シン・スーパー改革プラン～」の計画初年度を迎
え、さらに整備中の新庁舎においても、年度内に完成を迎える
みこ ほんし おお へんかくき むか ねん
見込みであるなど、本市にとって大きな変革期を迎える1年とな
ります。

れいわ ねんどとうしょよきん しんちようしゃかんれん
令和5年度当初予算につきましては、こうした新庁舎関連

よきん
予算のほか、

「なると まるごと ^{こそだ おうえん}子育て応援パッケージ」のさらなる^{かくじゅう}拡充

や、新たに「なると ^{あら}うずっ子 ^{こ がくりよくこうじょう}学力向上パッケージ」を^{そうせつ}創設する

など、「あらたな ^{つく}なると」を創っていくための^{かんれんよきん けいじょう}関連予算を計上

し、^{よきんそうがく}予算総額は、^{か こそだ}過去最大となる^{おく}293億4,000万円となりました。

ほんじつ じゅうてんしきく しょうかい
本日は、重点施策についてご紹介させていただきますが、こ

こからは、^{よこが}A4横書き「^ずカラー刷りの^{しりょう}資料」で^{せつめい}説明いたします。

ひょうし
表紙をおめくりいただいて、1 ページを^{らん}ご覧ください。

はじめに、「なると まるごと ^{こそだ おうえん}子育て応援パッケージ^{じぎょう}事業」に
ついてであります。

ほんし けんないずいいち こそだ おうえんとし れいわ ねんど
本市では、^{けんないずいいち}県内随一の^{こそだ おうえんとし}子育て応援都市として、^{れいわ ねんど}令和4年度か

^{れいわ ねんど}ら令和7年度までの^{ねんかん}4年間で「^{こそだ}子育て^{せたいいじゅうそくしんしきく}世帯定住促進施策の

しゅうちゅうじっしきかん いち であ けっこん しんせいかつ にんしん
集中実施期間」と位置づけ、出会いから結婚・新生活、妊娠・

しゅっさん しゅうがくまえ こうこう じゅうたくしゅとく かく
出産、就学前から高校、住宅取得といった各ライフステージの

こそだ せたい ほうかつてき しえん こそだ おうえん
子育て世帯を包括的に支援する「なると まるごと 子育て応援
パッケージ」を展開しております。

れいわ ねんど こそだ かにい いっそうしえん
令和5年度は、子育て家庭をより一層支援するため、パッケ

じぎょう かくじゅう しんきじぎょう ついか おこな
ージ事業のさらなる拡充や新規事業の追加を行うこととしてお

よさん そうがく ぜんねんどとうしょよさんがく ひかく やく ばい
り、その予算総額は、前年度当初予算額と比較して、約2倍の、

おく まん せんえん
3億2,544万1千円となっております。

ほん じぎょう じぎょう いちづ らいねんど
本パッケージ事業には24事業を位置付けており、来年度か

しんきじぎょう じぎょう
らの新規事業は6事業となっております。

つぎ らん
次に、2ページをご覧ください。

らいねんど じぎょう ほんしどくじ とりくみ
来年度の事業では、本市独自の取組として、いくつかの

むしょうかじぎょう じっし
無償化事業を実施してまいります。

しんきじぎょう どくじ とく じぎょう
これらの新規事業に、これまで独自に取り組んできた事業を

くわ なると こそだ しえん むしょうか めいう
加え、「鳴門の子育て支援無償化まるごと7(せぶん)」と銘打

ち、子育て支援に係る7つの無償化事業として、取り組んでま
いります。

てんめ ほいくりょう むしょうか
まず、1点目は、「保育料の無償化」であります。

にんか ほいくしせつ りょうしゃふたんがく ほいくりょう
認可保育施設の利用者負担額、いわゆる保育料について、

だんかいてき むしょうか と く れいわ ねんど むしょうか たいしょう
段階的な無償化に取り組み、令和7年度までに、無償化の対象

さいじ かくじゅう かんが
を0歳児まで拡充したいと考えております。

てんめ しんきじぎょう ちゅうがく ねんせい きゅうしょくひ むしょうか
2点目は、新規事業である「中学3年生の給食費無償化」、3

てんめ こんねんど かいし いっぱんふにんちりょうひ むしょうか
点目は今年度から開始している「一般不妊治療費の無償化」、

てんめ らいねんど かくじゅう ちゅうがくせいえいけんじゆけんりょう むしょうか
4点目は来年度から拡充する「中学生英検受験料の無償化」、

てんめ らいねんど しんきじぎょう しん ねんせい
5点目は、来年度からの新規事業である、「新1年生ランドセル

むしょうか てんめ しんきじぎょう しゅうがくまえしょう じ
の無償化」、6点目も、新規事業である「就学前障がい児の

はったつしえん むしょうか さいご どくじ と く
発達支援無償化」、最後に、これまでも独自に取り組んでまい

りました、「保育所・幼稚園・認定こども園における副食費の

むしょうか
無償化」であります。

ほんし　こそだ　せたい　ふたんけいげん　はか　どくじ　とりくみ
本市では、子育て世帯の負担軽減を図るため、独自の取組
により、所得制限を設けず、令和5年度から、この7つの
むしょうかじぎょう　じっし
無償化事業を実施してまいります。

こそだ　おうえん　じぎょう　れいわ
それでは、これより、子育て応援パッケージ事業の令和5
ねんどしんきじぎょうおよ　じぎょうかくじゅうないよう　せつめい
年度新規事業及び事業拡充内容についてご説明いたします。

であ　けっこん　しんせいかつ　じゅうたくしゅとく　かん
まずは、出会いから結婚、新生活、また住宅取得に関する
じぎょう
事業についてであります。

ちいきこんかつしえんじぎょうほじょきん　へいせい　ねんど　けいぞくじぎょう
地域婚活支援事業補助金は、平成27年度からの継続事業
であ　こんかつ　じっし　だんたい　しえん　であ
であり、婚活イベントを実施する団体を支援することで、出
ば　そうしゅつ　きよ
会の場の創出に寄与します。

ちいきこんかつしえんじゅうてんじぎょう　とくしまけんおよ
地域婚活支援重点事業は、徳島県及びマリッサとくしまと
れんけい　じちたいしゅさい　こんかつ　じっし　であ
連携し、自治体主催での婚活イベントを実施することで、出
ば　そうしゅつ　きよ
会の場の創出に寄与します。

けっこんしんせいかつし えん ほじょきん ふうふ さいいか しんこん
結婚新生活支援補助金は、夫婦ともに39歳以下の新婚

せたい しんせいかつ はじ ひつよう ちんたいじゅうたく しきぎん
世帯が新生活を始めるにあたり必要となる賃貸住宅の敷金や

れいきん ちゅうかいてすうりょう ひ こ ひよう しえん
礼金、仲介手数料のほか、引っ越し費用などを支援します。

しんこんせたい やちん ほじょきん ふうふ さいいか しんこんせたい
新婚世帯家賃補助金は、夫婦ともに39歳以下の新婚世帯

たいしょう みんかんちんたいじゅうたく やちん いちぶ さいだい ねんかんぶんし えん
を対象とし、民間賃貸住宅の家賃の一部を最大2年間分支援
します。

ていじゅうそくしんじゅうたくしゅとくほじょきん しな い じゅうたく けんせつ
定住促進住宅取得補助金は、市内で住宅を建設、または

こうにゅう ふうふ さいいか せたい たい しんちく
購入した夫婦のいずれかが39歳以下の世帯に対し、新築の

ばあい まんえん ちゅうこじゅうたくこうにゅう ばあい まんえん
場合は30万円、中古住宅購入の場合は20万円をベースに、

こ にんずう おやせたい どうきよ きんきよ しが い てんにゅう
子どもの人数や親世帯との同居・近居、市外からの転入などの

かさんようけん くわ さいだい まんえん しえん
加算要件を加え、最大100万円を支援します。

こんいん び ねんれい しょとくとう こま ようけん せってい
なお、いずれも婚姻日や年齢、所得等の細かな要件を設定

ぼしゅう さい しゅうちこうほう つと
しておりますので、募集の際には、わかりやすい周知広報に努
めてまいります。

つぎ さいじほいくりょうむしょうかじぎょう
次に、『2歳児保育料無償化事業』についてであります。

ほいくりょう　　こんねんど　　だい　　しいこう　　こさま
「保育料」につきましては、今年度は、第2子以降のお子様の

むしょうか　　と　　く
無償化に取り組んでまいりました。

れいわ　　ねんど　　かくじゅう　　だい　　しいこう
令和5年度は、これをさらに拡充し、第2子以降のみならず、

さいじ　　ほいくりょう　　むしょうか　　ほごしゃ　　けいざいふたん　　けいげん　　はか
2歳児の保育料を無償化し、保護者の経済負担の軽減を図り
ます。

ほいくりょうむしょうかじぎょう　　こんご　　いっそう　　かくじゅう
この保育料無償化事業については、今後、一層の拡充を

めざ　　れいわ　　ねんど　　さいじ　　だんかいてき　　かくじゅう
目指しており、令和7年度までには、0歳児まで段階的に拡充し
てまいります。

つぎ　　しゅうがくまえ　　しょう　　じはったつしえんむしょうかじぎょう
次に、『就学前の障がい児発達支援無償化事業』についてで
あります。

しょう　　じはったつしえん　　りょうしゃ　　じ　　こふたんきん　　ぜんがく
障がい児発達支援サービスの利用者自己負担金を全額

ほじょ　　ほごしゃ　　けいざいふたん　　けいげん　　はか
補助することにより、保護者の経済負担の軽減を図ります。

りょうしゃ　　さいみまん　　みしゅうがくじどう　　くに　　むしょうかたいしょう
利用者の4歳未満の未就学児童のうち、国の無償化対象と

かた　　たいしょう　　じっし
なっていない方を対象として実施してまいります。

つぎ
次に『ファミリー・サポート・センター利用料助成事業』について

てであります。

こそだ えんじょ う かた いらいかいいん しはら
「子育ての援助を受けたい方」である依頼会員が支払う

りょうりょう いちぶ じよせい いくじ えんじょ かた
利用料の一部を助成するとともに、「育児の援助ができる方」

ていきょうかいいん ほうしゅう じよせい ぞうがく そうほう じぎょう
である提供会員の報酬も助成により増額し、双方がより事業を

りょう と く すす
利用しやすくなるよう取り組みを進めてまいります。

つぎ しん ねんせい むしょうかじぎょう
次に、『新1年生ランドセル無償化事業』についてであります。

れいわ ねんど しょうがっこう にゅうがく しんにゅうがくじどう きぼうしゃ
令和6年度に小学校に入学する新入学児童のうち希望者

し つうがくよう むしょうはいふ
に、市が通学用リュックサックを無償配布するものであり、

しょうがくせい つうがくじ けいりょうか ふたんけいげん つな
小学生の通学時のカバンを軽量化することで負担軽減に繋げ

ほごしゃ けいざいふたん けいげん つな かんが
るほか、保護者の経済負担の軽減にも繋げてまいりたいと考

えております。

つぎ ちゅうがく ねんせいおうえんきゅうしょくひ むしょうかじぎょう
次に、『中学3年生応援給食費無償化事業』についてであり

ます。

こうこうしんがくとう ひか けいぎいてきふ たん おお ちゅうがく ねんせい
高校進学等を控え、経済的負担が大きくなる中学3年生の

ほごしゃ ふたんけいげん はか がっこうきゅうしょくひ むしょうか
保護者の負担軽減を図るため、学校給食費を無償化します。

なん りゆう きゅうしょくひむしょうか しえん う
また、何らかの理由で、給食費無償化の支援を受けられない

しな いざいじゅう ちゅうがく ねんせい ほごしゃ ねんかんきゅうしょくひそうとうぶん
市内在住の中学3年生の保護者には、年間給食費相当分とし

さいだい まんえん しきゅう
て最大で5万円を支給します。

いじょう れいわ ねんど こそだ おうえん
以上が、令和5年度における「なるとまるごと子育て応援パッ

じぎょう おも ないよう なるとし
ケージ事業」の主な内容であり、鳴門市としてこれまでにない

きぼ こそだ しえんじぎょう きょうりよく すいしん こそだ
規模で子育て支援事業を強力に推進することにより、子育て

せだい ていじゅうじんこう かくほ つな
世代の定住人口の確保に繋げてまいります。

つぎ こ がくりよくこうじょう
次に、「なると うずっ子 学力向上パッケージ」についてであ
ります。

れいわ ねんど じっし ぜんこくがくりよく がくしゅうじょうきょうちようさ とくしまけん
令和4年度に実施した「全国学力・学習状況調査」、「徳島県

けっか ちゅうがく ねんせい こくご すうがく
ステップアップテスト」の結果から、中学3年生の国語・数学を

のぞ へいきんせいとうりつ しょう ちゅうがっこう けんへいきん ぜんこくへいきん したまわ
除き、平均正答率が小・中学校ともに県平均・全国平均を下回

っています。

こうした課題かだい たいおうに対応するため、就学前しゅうがくまえから中学校卒業ちゅうがっこうそつぎょうまでの
10数年間すうねんかん、切れ目き めなく鳴門市なるとしどくじ独自の特色とくしょくある教育きょういくを実施じっしし、
未来みらいを生きる子どもい こたちの学力がくりょくを向上こうじょうさせる取り組みと く おこなを行い、
鳴門なるとで育ちゆく子どもそだ こたち一人一人ひとりひとりの無限むげんの可能性かのうせいを伸ばし
ます。

これより、本事業ほんじぎょうの事業内容じぎょうないようについて説明せつめいいたします。

まず、「認知機能強化トレーニング『コグトレ』」にんちきのうきょうかについてであ
ります。

市内しないの就学前児童しゅうがくまえじどうから小学校低学年しょうがっこうていがくねんの児童じどうを対象たいしょうに、認知
機能強化トレーニングにんちきのうきょうか「コグトレ」を導入どうにゅうします。

学習がくしゅうの基礎き そとなる認知機能にんちきのうを高めたかめることで、学習がくしゅうの土台どだいを
固めかた、その後ごの学力向上がくりょくこうじょうにつなげたいと考えてかんがしております。

次に、つぎ「なると学力調査がくりょくちようさ」についてであります。

れいわ ねんど こ がくりよく の けいぞく はあく
令和5年度より、子どもの「学力の伸び」を継続して把握でき

がくりよくちょうさ じっし
る「なると学力調査」を実施します。

しょうがく ねんせい ちゅうがく ねんせい じどうせいと たいしょう がくりよく
小学4年生から中学3年生までの児童生徒を対象に、学力

へんか けいぞくはあく
の変化を継続把握できるものです。

がくりよくちょうさ がくりよく の ぶんせき こ
この学力調査により、学力の伸びを分析することができ、子

の じしん いよく せいか せい きたい
どもには「伸び→自身→意欲→成果」の正のスパイラルが期待

こうかてき じれい きょうゆう きょういん しどうりよくこうじょう
でき、また、効果的な事例の共有により教員の指導力向上も

きたい
期待されます。

つぎ どうにゆうじぎょう
次に、「AIドリル導入事業」についてであります。

しょうがく ねんせい ちゅうがく ねんせい たいしょう がくしゅうないよう
小学1年生から中学3年生までを対象に、ドリルの学習内容

まちが げんいん かいせき たんげん ゆうどう
から、間違いの原因などをAIが解析し、その単元に誘導するな

じどうせいと さいてき しゅつだい ひとりひとり
ど、児童生徒にとって最適な出題をすることで、一人一人の

がくしゅう たす
学習を助けます。

れいわ ねんど こう なる とちゅうがっこう く およ せ と
令和5年度はモデル校として、鳴門中学校区及び瀬戸

ちゅうがっこう く しょうちゅうがっこう どうにゅう けんきゅう けんしょう おこな れいわ ねんど
中学校区の小中学校に導入し、研究・検証を行い、令和6年度

ぜんしょうちゅうがっこう どうにゅう め ぎ
には全小中学校への導入を目指します。

つぎ えいかいわどうにゅうじぎょう
次に、「オンライン英会話導入事業」についてであります。

げんざい めい つう い えいご ふ きかい もう
現在、8名のALTを通じ、生きた英語に触れる機会を設けて
います。

れいわ ねんど えいご はな ちから しゅうとく おも
令和5年度からは「英語を話す力」を習得することを主な

もくてき ちゅうがく ねんせい たいしょう じょう がいこくじん こうし たい
目的に、中学2年生を対象に、オンライン上で外国人講師と1対

えいかいわがくしゅう おこな えいかいわどうにゅうじぎょう じっし
1で英会話学習を行う「オンライン英会話導入事業」を実施しま
す。

れいわ ねんど こう だいいちちゅうがっこう どうにゅう れいわ
令和5年度はモデル校として第一中学校に導入し、令和6

ねんど ぜんちゅうがっこう じっし め ぎ
年度には全中学校での実施を目指します。

つぎ えいけんじゅけんりょうぜんがくほ じょじぎょう
次に、「英検受験料全額補助事業」についてであります。

えいけんじゅけんりょう ほ じょりつ げんざい ぜんがくほ じょ かくじゅう
英検受験料の補助率を、現在の1/3から全額補助に拡充

じゅけんかいすう せいげん
するとともに、受験回数^{じゅけんかいすう}の制限^{せいげん}をなくします。

ちゅうがく ねんせい げんそくぜんいんじゅけん ちゅうがくそつぎょうじ
また、中学3年生は原則全員受験とし、中学卒業時まで

えいけん きゅう しゅとく めぎ
英検3級の取得を目指します。

いじょう とくしよく きょういく てんかい
以上のおり、それぞれ特色ある教育を展開するとともに、

がくりよくちょうさ じどうせいとひとりひとり がくりよく の
「なると学力調査」で児童生徒一人一人の学力の伸びを

かしか とりくみ じっし
可視化するという取組をパッケージとして実施することにより、

こ たし がくりよくこうじょう と く
子どもたちの確かな学力向上に取り組みます。

つぎ た じゅうてんしきく せつめい
次に、ここからはその他の重点施策について、説明させてい
ただきます。

ゆた ひと はぐく し じぎょう
まずは、「豊かな人を育むまちづくり」に資する事業でござい
ます。

ほいくしょうしやうず しょうぶんしえんじぎょう ほいく
「保育所等使用済みおむつ処分支援事業」について、保育

かんきやうとうかいぜんじぎょう しょうぶんひやうほじょじぎょう せつめい
環境等改善事業と処分費用補助事業の2つをご説明いたしま
す。

がつ くに しょうず えんしょうぶん すいしょう
1月に、国から「使用済みおむつを園処分とすることを推奨す

る」といった趣旨の事務連絡が発出されました。

本市の状況は、多くの施設が家庭へ持ち帰りをお願いして
おり、施設での処分について、衛生管理や処分費用面での
課題がありました。

これを受け、使用済みおむつを処分する市内保育所や認定
こども園を対象に、保管用具の購入や、処分に係る費用につい
て補助を行います。

このうち処分費用については、市独自の補助であり、感染症
対策の向上及び、保育施設を利用する保護者や職員の負担
軽減に繋げてまいります。

次に、「『なると第九』ブランド化推進事業」についてでありま
す。

本市が誇る「第九」アジア初演の歴史に関する地域資源や
観光資源を活用し、さらなる「なると第九」ブランドの向上や、

みらい つな じぎょう てんかい
未来へと繋いでいくため事業を展開します。

ねん だいく こうきょうきょくえんそうかい がつ
4年ぶりとなるベートーヴェン「第九」交響曲演奏会を、4月3

にち なるときょういくだいがくたいいくかん かいさい だいく
0日に鳴門教育大学体育館で開催するほか、「第九」アジア

しょえん しゅうねんきねんけいしゅうじぎょう こうえんかい じせだいくせい と
初演100周年記念継承事業としての講演会、次世代育成の取

く へいわがくしゅう しゅうがくりょこうさき きょういくりょこう
り組み、平和学習もできる修学旅行先としての教育旅行の

ゆうち じっし
誘致などを実施します。

つぎ むらこうえん せいびじぎょう
次に、「ドイツ村公園トイレ整備事業」についてであります。

むらこうえん りんち ちゅうしゃじょう あんないひょうじ せいび
ドイツ村公園の隣地にトイレや駐車場、案内表示などを整備

りようしゃ りべんせい こうじょう はか
し、利用者の利便性の向上を図ります。

むらこうえん くにしていしせき ばんどうふりょしゅうようじょあと
ドイツ村公園は、国指定史跡 板東俘虜収容所跡があり、ユ

せかい きおく どうろく みす しゅうへん かんきょうせいび すす
ネスコ「世界の記憶」への登録も見据え、周辺の環境整備を進

ほんし ほこ こうえん しながい じょうほうはっしんおよ
めるとともに、本市が誇る公園として、市内外への情報発信及

けいはつ っと
び啓発に努めてまいります。

つぎ ぶんかいかんたいしんかいしゅうじぎょう
次に、「文化会館耐震改修事業」についてであります。

なるとしぶんかいかん たいしんせいのみ じしん
鳴門市文化会館は耐震性能を満たしておらず、地震による

とうかい きけんせい れいわ ねん がつ きゅうかん
倒壊の危険性があることから、令和3年4月から休館しており
ます。

こんねんど きょうとだいがく たいしんちょうさとうぎょうむ いたく たいしんかいしゅうあん
今年度、京都大学へ耐震調査等業務を委託し、耐震改修案

けんとう がいさんこうじひ さんしゅつ おこな かくかんけいだんたい
の検討や概算工事費の算出を行うとともに、各関係団体への

き と どう おこな せいびほうしん けつてい
ニーズの聞き取り等を行い、おおよその整備方針を決定しまし
た。

れいわ ねんど しせつ かか かだい せいり
令和5年度につきましては、施設が抱える課題を整理すると

しみん つか しせつ めぎ きほんせつけい
ともに、市民がより使いやすい施設を目指すため、基本設計を

さくてい なか ぐたいてき かいしゅうないよう じぎょうひとう
策定する中で、具体的な改修内容やスケジュール、事業費等を

き
決めてまいります。

きほんせつけい へいこう はっちゅうしょうしよさくせいぎょうむ じっし
また、基本設計と並行してDB発注仕様書作成業務を実施

れいわ ねんどいこう ほうしき たいしんかいしゅうこうじ
し、令和6年度以降のデザインビルド方式での耐震改修工事の

はっちゅう む じゅんび ちやくしゅ
発注に向けた準備に着手してまいります。

じぞくはってんかのう し じぎょう
ここからは、「持続発展可能なまちづくり」に資する事業でご

ございます。

な る と し きたじまちょうきょうどうじょうすいじょうせい びじぎょう
まずは「鳴門市・北島町共同浄水場整備事業」についてであ

ります。

れいわ ねん がつ きょうようかいし め ぎ じぎょう すす
令和8年4月の供用開始を目指し、事業を進めているところ

れいわ ねんどうしよよきん じょうすいしよりとう かんりとう
であり、令和5年度当初予算では、浄水処理棟や管理棟などの

くたいこうじ よてい
躯体工事を予定しています。

つぎ がっぺいしよりじょうかそうふきゅうそくしんじぎょう
次に、「合併処理浄化槽普及促進事業」についてでありま

す。

かいてき せいかつかんきょう りょうこう みずかんきょう じつげん む がっぺいしより
快適な生活環境と良好な水環境の実現に向け、合併処理

じょうかそう ふきゅう そくしん ゆうこうせい しゅうち
浄化槽の普及を促進するため、その有効性を周知するととも

てんかんほじよせいど かくじゅう おこな
に、転換補助制度について拡充を行います。

れいわ ねんど きせつそう てつきよ かが ほじよきん たくないはいかん つ
令和5年度は、既設槽の撤去に係る補助金と宅内配管の付

か かが ほじよきん くに ほじよせいど かいせい あ ほんし
け替えに係る補助金を、国の補助制度の改正に合わせ、本市

ぞうがく
においても増額します。

つぎ はんのうはん すいしん じぎょう
次に、「『半農半X』推進シェアハウス事業」についてであります。

ほんし あら いじゅう はんのうはん すいしん
本市における新たな移住コンセプト「半農半X」の推進にあたり、これまでの1泊2日の体験ツアーに加え、移住に向けたイメージの具体化・関係性の構築を目的に農業アルバイトを行いながら、2週間程度滞在する移住体験事業を実施します。

なるときょういくだいがく しょくいんしゆくしゃ さんかしゃ
鳴門教育大学の職員宿舎を参加者のシェアハウスとして、

ほんし いっていき かんたいざい のうぎょうたいけん いじゅう
本市で一定期間滞在し、農業体験してもらうことにより、移住

こうりゅう そくしん なると かんけいじんこうそうしゅつ
交流の促進はもちろん、鳴門のファンづくり、関係人口創出

のうぎょう はんぼうき ひとでぶそくかいしょう
農業の繁忙期における人手不足解消につなげてまいります。

つぎ いじゅうきぎょう じぎょう
次に、「移住起業アカデミー事業」についてであります。

か ばしよ えら はたら
コロナ禍においてテレワークをはじめ、場所を選ばない働き

かた ふきゅう としぶ ちほう ひと しごと なが う
方の普及がすすみ、都市部から地方へ人・仕事の流れが生まれております。

こうき とら いじゅうきぎょう すいしん ほんし
そのような好機を捉え、移住起業を推進することで本市への

いじゅうしゃ ぞうか ちいき かだいかいけつ あら かち そうぞう
移住者の増加はもちろん、地域の課題解決や新たな価値創造

と く しゃかいきぎょうか いくせい かつどう ちいき
に取り組む社会起業家を育成し、その活動により地域イノベー

ションの創出につなげてまいります。

ぐたいてき とし ぶ じゃくねんそう たいしょう いじゅうきぎょう む
具体的には、都市部の若年層を対象とした移住起業に向け

てのオンライン講座や、実際に本市において短期移住起業

がっしゅく じっし
合宿を実施することとしております。

つぎ ちきゅうおんだんかたいさくじっこうけいかくすいしんじぎょう
次に、「地球温暖化対策実行計画推進事業」についてであり

ます。

ねん じつげん ねんど おんしつ
2050年カーボンニュートラルの実現や、2030年度の温室

こうか ねんどひ さくげん たっせい む おんしつこうか
効果ガス、2013年度比46%削減の達成に向けて、温室効果

はいしゅつりょう さくげん しさく かん じこうとう さだ
ガスの排出量を削減するための施策に関する事項等を定めた

ちほうこうきょうだんたいじっこうけいかく くいしさくへん れいわ ねんど さくてい
地方公共団体実行計画「区域施策編」を令和6年度に策定し

ます。

れいわ ねんど けいかく ひつよう さいせいかのう
令和5年度は、この計画に必要な再生可能エネルギーの

どうにゅうもくひょう さくてい
導入目標を策定します。

つぎ あんぜんあんしん し じぎょう
次に、「安全安心のまちづくり」に資する事業でございます。

しんちようしゃせいびじぎょう
「新庁舎整備事業」についてであります。

ほんじぎょう さくねん がつ けんせつこうじ ちやくしゆ
本事業につきましては、昨年5月から建設工事に着手し、

こんご てっこつたてかた くたいこうじ こうてい すす ないがいそう し あ
今後、鉄骨建方や躯体工事へと工程が進み、内外装の仕上げ

など へ れいわ ねん がつ しゆんこう むか
等を経て、令和6年1月の竣工を迎えます。

れいわ ねんど きゆうちようしゃ きようさいかいかんどう かいたいこうじ かか
令和5年度には、旧庁舎、共済会館等の解体工事に係る

せつけい どうしせつ きろく ほぞん けんしょう む じぎょう
設計や、同施設の記録の保存、顕彰に向けたアーカイブ事業に

ちやくしゆ
も着手いたします。

つぎ だれ けんこう く
次に、「誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり」や、

かつりよく し じぎょう
「活力あふれるまちづくり」に資する事業でございます。

かいごよぼう すいしんじぎょう
まずは、「介護予防DX推進事業」についてであります。

こんねんど あら いるようほけん かいごほけん かいごよぼうじぎょう
今年度より、新たに、医療保険・介護保険・介護予防事業・

かくしゅけんしん かつよう かいごよぼうじぎょう こうかけんしやう
各種健診などのデータを活用し、介護予防事業の効果検証や

ほんしこうれいしゃ とくせい かだい ぶんせき おこな ぶんせきけっか
本市高齢者の特性・課題の分析を行い、分析結果やエビデン

もと かいごよぼうじぎやうとう てんかい すす
スに基づく介護予防事業等の展開を進めています。

けっか ふ ざいたく い さんか
その結果を踏まえ、在宅に居ながら参加できるオンライン

かいごよぼうじぎやう どうにゆう たよう おう うんどう しゅみ
介護予防事業の導入や、多様なニーズに応じた運動・趣味

かつどう こうりゆう きやうしつ てんかい
活動・交流などの教室を展開します。

ひまん うんどうぶそく かいしやう む とくていけんしん れんどう
また、肥満や運動不足の解消に向け、特定健診と連動した、

ゆうさん そうんどう きやうしつ あら そうせつ こうれいしゃ
オンラインの有酸素運動の教室を新たに創設するなど、高齢者

けんこう いじ かいぜん はか けんこうじゅみやう えんしん めぎ
の健康の維持・改善を図り、健康寿命の延伸を目指してまいり
ます。

つぎ なるとこうほうじぎやう
次に、「ボートレース鳴門広報事業『フリー サニタリー タオ
ル アクション』」についてであります。

なると こうほうじぎやう
ウズ・パークやボートレース鳴門をPRする広報事業として、

げんざい しゃかいもんだい せいり ひんこん とう じよせいとくゆう
現在、社会問題となっております「生理の貧困」等の女性特有

かだい あら じよせい む こうほうじぎやう
の課題について、新たな女性向け広報事業「フリー サニタリー

タオル アクション」に^と取り^く組むこととしました。

この事業は、ウズ・パーク等^{など}のボートレース施設^{しせつ}をはじめ、
配置^{はいち}を希望^{きぼう}する市^しの公共施設^{こうきょうしせつ}や、市内中学校等^{しな いちゅうがっこうとう}の女性用トイレ^{じょせいよう}
に生理用ナプキン^{せいりよう}を配置^{はいち}し、無償^{むしょう}での提供^{ていきょう}を実施^{じっし}するもので
す。

トイレに誰^{だれ}でも気兼ね^{きが}なく手^てに取る^とことができるナプキンがあ
ることで、女性特有^{じょせいとくゆう}の健康^{けんこう}をはじめとする困りごと^{こま}への支援^{しえん}と
なりますように、また、「すべての人^{ひと}に優しく^{やさ}寛容^{かんよう}な社会^{しゃかい}づくり」
に繋^{つな}がるように^と取り^く組みます。

次に、^{つぎ}「アフターコロナ事業者支援^{じぎょうしゃしえん}パッケージ事業^{じぎょう}」について
であります。

市内事業者^{しな いじぎょうしゃ}を取り巻^とく経営環境^{けいえいかんきょう}は、厳^{きび}しい状況^{じょうきょう}が続^{つづ}いてお
り、こうした中^{なか}、事業継続^{じぎょうけいぞく}・事業拡大^{じぎょうかくだい}を図^{はか}るためには、アフター
コロナ^{み す}を見据^みえた「未来志向^{みらいしこうがた}型^{けい}の経営改革^{けいえいかいかく}・組織変革^{そしきへんかく}」が求め
られます。

じょうせい はか
醸成を図ります。

つぎ おおさか かんさいばんぽく む かんこうきゃくうけいれかんきょうせい びすいしん
次に、「大阪・関西万博に向けた観光客受入環境整備推進

じぎょうほじょきん
事業補助金」についてであります。

ねんおおさか かんさいばんぽく かいさい けいき こくないがい
2025年大阪・関西万博の開催を契機として、国内外からの

かんこうきゃく ぞうか み こ
観光客の増加が見込まれております。

し ない かんこうかんれんじぎょうしゃ かんこうきゃく うけいれかんきょうせい び
そこで、市内観光関連事業者による観光客の受入環境整備

かんこうゆうきゃく あら とりく そくしん ほじょきん
や、観光誘客への新たな取組みを促進するため、補助金を

こうふ
交付いたします。

ほじょたいしやう じぎょうしゃ し ない ほんてん じぎょうしょ ゆう
補助対象となる事業者は、市内に本店または事業所を有し、

しゆくはくしせつ かんこうしせつ みやげものこうりてん いとな ほうじん こじん
宿泊施設・観光施設・土産物小売店を営む法人または個人で

あります。

はんそく いんさつ ほんやくき き こうにゆう しょうだんかい しゅってん
販促ポスターの印刷や翻訳機器の購入、商談会への出展、

どうが せいさく せっきょくてき とうし ひつよう たい ほじょ
PR動画の制作など積極的な投資が必要なものに対して補助

おこな
を行います。

じぎょう かいし うけいれかんきょうせいびとう ひつよう
なお、事業開始までに受入環境整備等において必要となる

けいひ ちょうさ おこな ちいき げんじょう はあく うえ あらた
経費について調査を行い、地域の現状を把握した上で改めて

けつてい
決定してまいります。

さいご つく じりつ し じぎょう
最後に、「みんなで創る自立したまちづくり」に資する事業で
ございます。

きの うどうにゆうじぎょう
まず、「AI チャットボット・LINE機能導入事業」についてであ
ります。

しみん かた じょうほうはっしん おこな し こうしき
市民の方へ、よりわかりやすく情報発信を行うため、市公式
ウェブサイトへの AI チャットボット導入及び市公式LINE の
きの うかくじゅう おこな
機能拡充を行います。

たようか りようしゃ へんか
ライフスタイルが多様化し、利用者のニーズが変化してきて
いることから、AI チャットボット導入や LINE の機能拡張によ
り、オンラインで 24時間365日、どこでも知りたい情報を得る
ことができるようになります。

つぎ
次に、「いつでもどこでもスマート市役所」についてでありま
す。

どうにゆうず じちたいむ もうしこ
すでに導入済みの「自治体向け申込み・アンケートフォーム」

きのうかくじゅう てつづ かんきょう さら じゅうじつか はか
の機能拡充によるオンライン手続き環境の更なる充実化を図る

もち やかん きゅうじつ
ことで、スマートフォンやパソコンを用いて、夜間・休日など、24

じかん じたく えんかくち
時間「いつでも」、自宅やオフィス、遠隔地など「どこでも」、

ぎょうせいてつづ おこな しやくしよ
行政手続きが行える「いつでもどこでもスマート市役所」の

こうちく すす
構築を進めてまいります。

ほんじつ せつめい じぎょう いじょう はいふ よさん
本日ご説明する事業は以上でございますが、配布した「予算

がいよう た じぎょう けいさい
の概要」に、その他の事業について掲載しておりますので、ぜ

さんしょう
ひご参照ください。

いじょう れいわ ねんとどうしよよさん あん せつめい お
以上で、令和5年度当初予算(案)についての説明を終わ

ます。